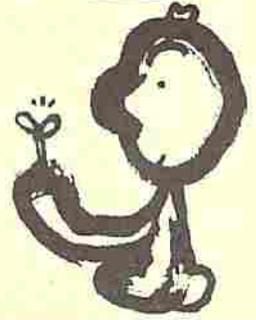


# NEWS



特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ

〒651-0095 神戸市中央区旭通1-1-1-203 (サンピア2F)

TEL078-230-9774 FAX078-230-9786

E-Mail kikin@stylebuilt.co.jp URL <http://www.stylebuilt.co.jp/kikin/>

社会の隅々まで「市民が市民活動を支える」  
コンセプトを

新年明けましておめでとございます。

昨年はいよいよミレニアムの一歩を踏み出した矢先に、世界中を震撼させた「米国同時多発テロ」という事件が発生し、大変憂鬱な新年を迎えることになりました。大規模災害を体験した私たちだけに、改めて命の尊さと危機管理について考えることが必要だと痛感しております。

さて、阪神・淡路大震災からようやく7年が経わり、『1・17』を中心に被災地各地で様々な催しが開催されました。これらの多様な催しでは「市民主体の市民社会形成」が提言・提案されているように思われます。また、地域においては多様な活動が生まれ、新たな担い手が各地で芽を出しています。まさに市民自治の幕開けのような感すらあります。

皆さま方のご支援のもと、設立以来、当「しみん基金・KOBÉ」は、「市民主体の市民社会形成」の担い手に対する活動への財源支援としてささやかな役割を果たして参りました。しかし一方では、まだまだ担い手の活動を支える基盤は脆弱です。当基金の趣旨であります「市民が市民活動を支える」という理念は、徐々に浸透しつつありますが、まだまだ不十分と言わざるを得ません。私も当基金の関係者も今まで以上に努力して参りますが、皆さま方におかれまして是非今後ともご協力いただきたくお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。

理事長 黒田裕子

### ◆はあくともふふあんど(川)案内◆

現在当基金では、兵庫県遊技協同組合のハート玉福祉支援事業・『はあくともふふあんど』の一環として、支援金『ひょうごボランティアあしすと』の申し込みを受け付けております。ハート玉とは、兵庫県遊技協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換時の余り玉に、ホールからの寄付金を加えたものが、基金として積み立てられたものです。当該基金は年3回に分けて、①県内の福祉事業 ②ユネスコ活動事業 ③地域支援事業 の支援金として毎年寄付されていますが、今回の『ひょうごボランティアあしすと』は地域ボランティア活動が支援対象になっています。

支援母体である『はあくともふふあんど委員会』はAM神戸(ラジオ関西)・兵庫県遊技協同組合・神戸新聞事業社の三者で構成されており、『ひょうごボランティアあしすと』は『はあくともふふあんど委員会』より当基金が委託された支援事業です。

支援金申し込みの概要は以下の通りです。

#### ▼支援先

5人以上の団体で兵庫県内を主たる活動の場とする団体(法人化の有無は不問)

#### ▼事業内容

環境保全、被災者支援や被災地復興、地域の安全、その他公益の目的と認められる事業

#### ▼対象事業期間

平成14年5月1日から平成15年4月30日までに終了する事業

#### ▼支援金額

1事業について総事業費の3/4以内かつ最高100万円

#### ▼受付期間

平成14年1月7日～2月28日

# 平成13年度第1回助成事業

今年度上半期に行われた各助成団体の報告です

## 特定申請団体

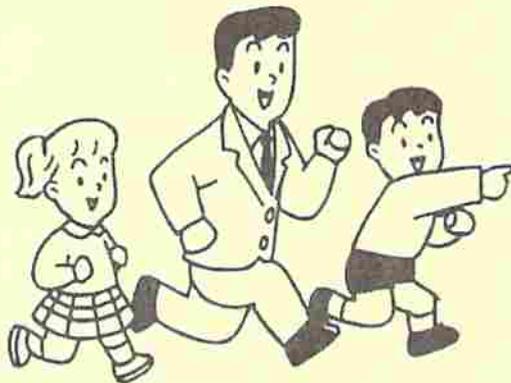
### ▼ウイズ ネイチャー

当団体のホッパーズクラブでは、月に一度青少年を対象に、自然体験活動プログラムを行っています。5年前に始めた時は7人の子供たちでしたが、今年度は40人を越え、プログラムの立案、事務作業の分担方法などを考え直す時期にきていました。今年度の初めにスタッフの間で話し合った事は、プログラム運営に子供たちが積極的に関わる事の重要性、そしてそれを見守る事のできるボランティアスタッフの強化、ボランティアスタッフの事務作業への関わりによって作業効率を上げた事などです。プログラムの『子どもたちの関わり』は、ホームページを子供たちの手で作る事も考えました。自分たちで考え実行したプログラムを日本中ひいては世界に発信する事は、子供たちの励みになり、今後の発展にもつながるのでは？と考えたのです。そのためにも必要なものは、何をあいても、ノートパソコンが必要になり、この度の申請に至りました。そして助成金により、7月にノートパソコンを購入してからの活動には必ずノートパソコンを持っていき、夏のキャンプの報告も現地から発信し、ご家族の方たちへ家で見ていただくことができました。8月の終わりには『子どもミーティング』を開始し、今後の子供たちの自主活動を楽しみにしていると

このノートパソコンを今後の私たちの大事な宝物とし、活動に活用していきたいと思っています。この度は本当にありがとうございました。

### ▼神戸垂水おやこ劇場

神戸垂水おやこ劇場は昭和62年9月に発足しました。『子どもに夢を！たくましく豊かな創造性を！』をスローガンに子どもの年齢に応じた舞台芸術を鑑賞したり、子どもたちが主体的に関わる子どもまつりやキャンプなどを開催しています。今回は子どもフェスティバルの開催費用として申請しました。感想としては、子どもが『子ども実行委員会』に「やってみよう」と思って参加し、また午前・午後の部ともに子どもが中心になって進められていたのが良かったです。さらに、自分たちの意見が取り入れられた事で満足感や自信が得られたと思います。我々スタッフとしては、日頃顔を合わせるだけの人も、準備段階での話し合いや当日の働きを通して親しくなる機会を持つことができ、当日子どもたちも普段の遊びから思いついた『お菓子作り』をとてはりきってやっていました。『お楽しみ会』で発表する子どもたちはどの子もいきいきといて、それを見ていた子どもたちの表情も良かったです。但し次回以降は、準備段階からもっとたくさんの方に参加して欲しいと思いました。



## 一般申請団体

### ▼喫茶赤とんぼ作業所

今回、喫茶赤とんぼ作業所（毎日市場内）の立ち上げに係る資金として申請しました。喫茶のお客さまは、地域の住民の人たちが中心で、市場の出前分を加えても売上は少ないですが、スタッフも一日の動きに慣れてきてお客さまへの対応にも慣れてきました。また、お客さまにも顔と名前を覚えてもらいうれしそうです。地域のひととボーリング大会を行ったり月1回イベントを開催したり、他の作業所との交流や地域の夏祭りなど、あっと言う間の半年間でした。これからもスタッフ一同力を合わせて、一人でも多くのお客さまに来店していただけるよう、日々努力していきます。



▼サポートステーション 灘・つどいの家

まず最初に貴基金の助成金で各事業が支障なく推進し、利用者の増加を見ることができ、また、ボランティアの方々に対しても些少とも有償でできました事、御礼申し上げます。地域の方々に利用されるようにメンバーの知恵と熱意、行政や各団体の理解と援助をお願いしながらより充実したつどいの場所にしたたいと願っております。本年も新しく『神戸生きがい対応型デイサービス』もスタートする事ができ、一人でも多くの方が要介護者とならない事を私たちは願っております。当・つどいの家もそうですが、ボランティア活動をするには、どうしても人の善意に頼らざるを得ません。しかし、どのような活動にも様々な経費がかかり、活動を大きくすればする程、その経費も増加して参ります。ボランティアの方々にご負担していただくにも限度がございます。助成金などで活動の援助を今後もしていただければ幸いです。社会環境の変化とともに、つどいの家が行っている活動はますます必要になってくるかと思えます。貴基金の活動の理解とご援助よろしくお願い申し上げます。



▼共働作業所さくら

共働作業所さくらは平成9年4月に開設され、『地域で共に生きる』事を大切に、障害者メンバーの人たちと一緒に生活や仕事を作っていく小規模作業所です。6月にしみん基金・こうべからいただいた助成金で、さくらは作業所の改修工事を行うことができました。9月3日、11日、改修工事が行われ、壁を取り除き床を平らにして、さくらはお店と炊事場が完全に繋がってとても広くなり、明るい感じになりました。おかげで食器の片づけや食事の用意などをみんなで行えるようになり、車椅子の移動も楽になりました。そして、さくらにたくさんの方が来ていただけるようになりました。スタッフもスペースが広がって、気持ちはずれいですが、改修後の片づけに追われて疲れています。

▼御影倶楽部

今回は私たちの取り組み『精神障害者グループホーム開設』に助成いただき、誠にありがとうございます。当倶楽部は精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域の人々の精神障害についての理解を深め、全ての人がともに生きていける地域づくりを目指しています。しみん基金・こうべでは、プレゼンテーションで事業について計画だけでなく思いや現状を伝えられるので、起案者としては良いと思えます。また自身が市民へPRし、必要性などについて伝える能力も高められると思います。伝える事が大切です。なお、選考が分野でも少し区別された方が公平ではないかと思えました。福祉と文化的な活動が同列で評価される点に疑問を感じました。

▼NGOベトナム in KOBENews

言葉が原因で色々なトラブルが生まれます。日本語ができる人できない人の相談内容は全く違いますが、前者の相談は国籍・人権・就職差別などで、後者の相談は、明細書の見方・病院の付き添い・買い物の方・電車の乗り方などの初歩的な問題です。力になれる事もあれば全然なれない事もあり、ある程度新しく正しい知識を持たなければいけないと強く実感しました。毎朝高齢者が当団体に集まって会話を交わしています。相談があれば乗りますが、話を聞くだけでも楽になるようです。遠足にも2回連れていったところ、あまり知らない日本の社会を知る好機になり喜んでもらえました。夏の間は青少年たちが毎週木曜日に運動場に集まりサッカーの練習をして、ストレスを発散しています。寒い間は練習はなく、他の行事で若者に協力してもらっています。NGOヴィエトナムは活動報告などを2言語で掲載して7、9、11月に約300部発行し、郵送したり直接配ったりしました。大きなイベントも2つ開催し、どちらも大好評でした。①青少年対象の夏キャンプ②中秋節。このような活動ができるのは貴基金のおかげです。必要なプログラムを組んで、高齢者には少しでも生きがい、子供たちの不安やストレスを発散する場を提供していきたいです。もちろん自力でこのようなイベントをできればいいのですが、ベトナム人コミュニティはまだ弱く、私たちのように引っ張っている団体が必要だと感じています。



草地奨励賞

グループ117

(平成11年9月に発足。勉強会・交流会を通してメンバーの交流を図るとともに、月2、3回、主として神戸を訪れる修学旅行性を対象に語り部活動を実施。)

当貴金では「草地奨励賞」を設けています。この賞は、当基金の初代理事であった故草地賢一氏(阪神大震災地元NGO救援連絡会代表)の長年に渡る幅広い草の根市民活動の哲学と業績をたたえ、その意志を受け継いでいくため、草の根支援の見地から有意義な活動を活発に展開されている団体に対し授与されるものです。

理事の横顔



被災地障害者センター 事務局長  
大賀重太郎

日頃は、NPO法人 被災地障害者センターの事務局長として活動しています。しみん基金・KOBÉには、被災地NGO協働センター代表の村井さんに口説かれて参加しました。

『基金』というと、普段の活動の現場からは「どうやって助成してもらおうか」と考え、受け身になってしまっています。そんな私に、村井さんは「市民活動をいっしょに支えあう仕組みを作るのだ」と迫ったのです。被災地障害者センターは、震災直後に福永代表が「こんな時だからこそ、助けてもらえばかりじゃあない。支えあう活動をするんだ」と発したことから作られました。そしてほんとうに多くの人たち関係するネットワークに支えられてきました。今、私たちが自分たちで支えあう仕組みを作ることには大きなテーマだと思っています。

私は、草の根活動の視点から、しみん基金・KOBÉがネットワークづくりや、NPO/NGOの体力アップの要になる事を願って参加しています。また、被災障害者支援「NPO法人ゆめ・風10億円基金」や「木口ひょうご地域振興財団」にも関与させていただいている事から、草の根活動が支えあい、社会的な評価を得る仕組みについて勉強しています。いっしょに「受け身」じゃあなく、参加しませんか。そして自らのネットワークを作っていきたいと願っています。

理事 大賀 重太郎

会員数と「寄付の報告

(2001年8月〜  
2002年2月)

◆正会員

個人42名 団体6名

◆賛助会員

個人95名 団体20名

◆寄付・募金合計金額

1737759円

◆寄付者・募金一覧

(敬称略・順不同)

サポートステーション灘・つどの家

笹原順子(サポートステーション灘・つどの家)

姫野操子(サポートステーション灘・つどの家)

神戸市(神戸市福祉奨励賞)

被災地障害者センター(募金箱)

KCCライフプランセミナー(ソニー生命)

野崎隆一

白水士郎

村上和子

バンブーCOOP

イングリッド・フジコ・ヘミング

新神戸オリエンタル劇場

大賀重太郎

中島秀夫

ぐるぐぶ架け橋

皆様、  
ありがとうございます。

「しみん基金・KOBÉ」の運営を支えて下さる賛助会員と寄付を募集しています。

個人会員 年間 3,000円  
賛助会員 年間 10,000円

お申し込みは電話・FAX・電子メールなどで、お名前・住所・電話番号をお知らせ下さい。

振込口座 三井住友銀行 三宮支店 普通7965892  
みなと銀行 本店営業部 普通1597921  
近畿ろうきん 神戸支店 普通4161854  
郵便振替 00930-6-310874  
口座名義「しみん基金・こうべ」

◆ 今回初めてニュースの作成に関わりました。非常に寒がりな私にとっては厳しい毎日が続きますが、暦の上ではもうすぐ立春。「冬来たりなば春遠からじ」の言葉通り、暖かい春の日差しを浴びるまであともうわずか。春の訪れとともにプロ野球のキャンプ・オープン戦も始まります。本業の不振にもめげずリーグ優勝・日本一奪回を目指しているタイエーナインに自分をオーバーラップさせ、寒さに負けず精進していきたいものです。(S)